

東北地方太平洋沖地震 災害調査報告会(2011.4.11)

「宮城県内陸部の被害」

本日の報告担当:

古関潤一(東京大学)

若井明彦(群馬大学)

JGS東北支部・関東支部合同第一次調査団 宮城県内陸部担当班

団長: 風間基樹(東北大学)
東北支部連絡代表者・会計: 三辻和弥(山形大学)
関東支部代表: 古関潤一(東京大学)
関東支部連絡代表者・会計: 規矩大義(関東学院大学)
団員: 佐藤真吾(復建技術コンサルタント)
森友宏(東北大学)
株木宏明(東北大学)
佐々木航平(東北大学)
若井明彦(群馬大学)
太田秀樹(中央大学)
桑野二郎(埼玉大学)

調査日程

	4月2日	3日	4日	5日	6日
三辻,株木, 佐々木 (4/3)	白石市・ 山元町 (風間,佐 藤,三辻, 森,株木, 佐々木)	折立・ 西花苑・高 野原・北中 山	高森 ほか	旭ヶ丘 ほか	
森,太田, 若井		鶴ヶ 谷ほか	鶴ヶ谷	石巻・女 川(太田, 桑野)	福島県 福島市 ほか
佐藤(4/3), 風間(4/4), 桑野,古関	夜: 全員 (+國生, 規矩)で の打ち合 わせ	自由 が丘 ほか	南光台 東・陣 が原・ 南光台	白石市等 県南部・ 仙台市 緑ヶ丘(古 関,若井)	(太田, 國生, 桑野, 古関, 若井)

調査箇所(仙台市内)



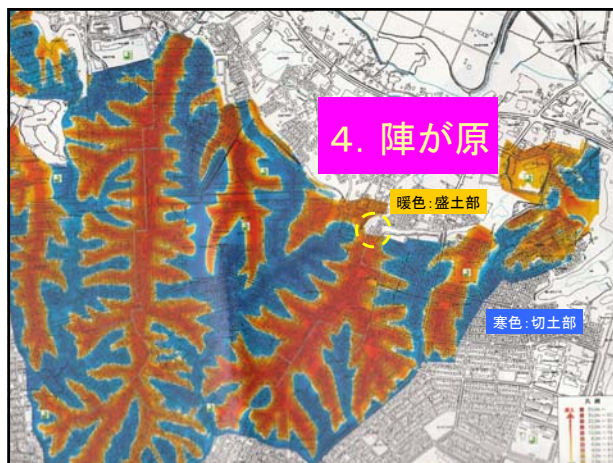
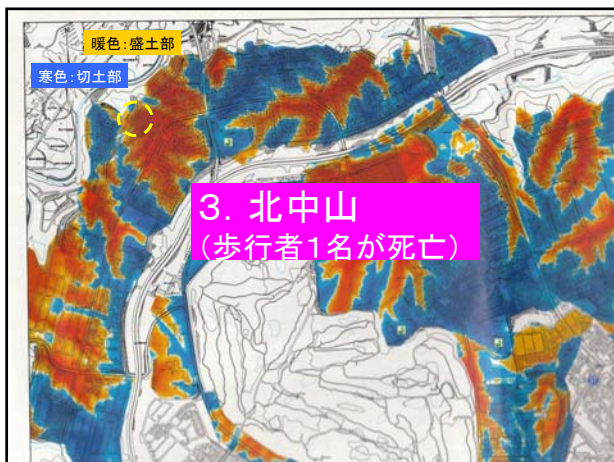
調査箇所(仙台周辺)

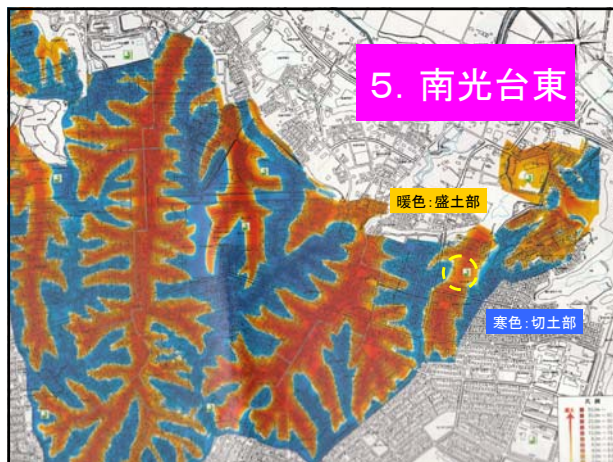


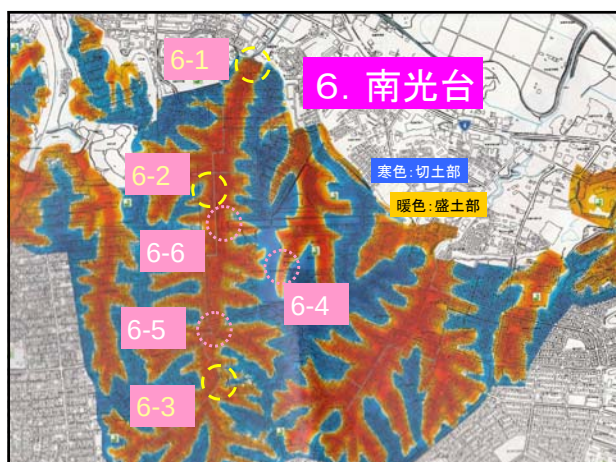
調査結果の一例



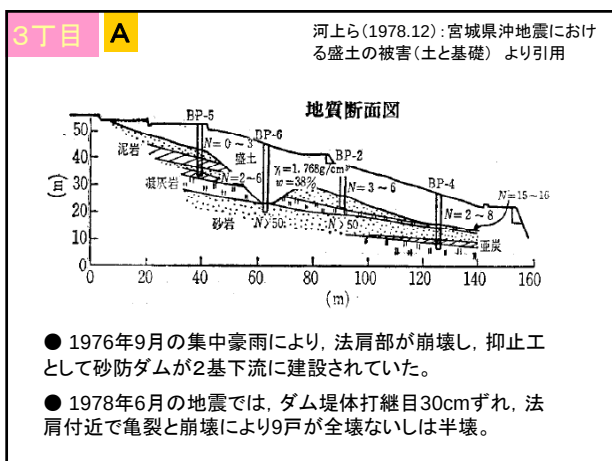
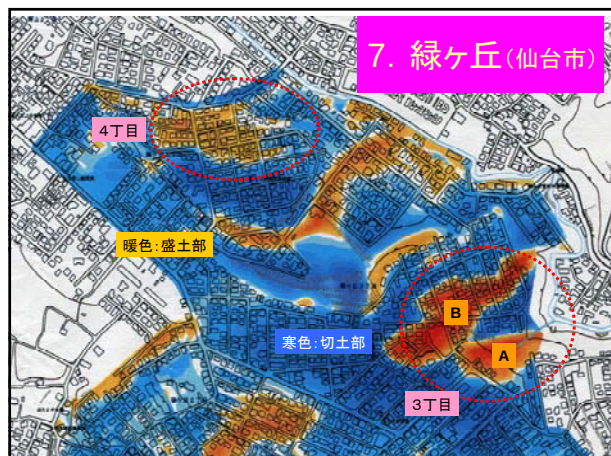


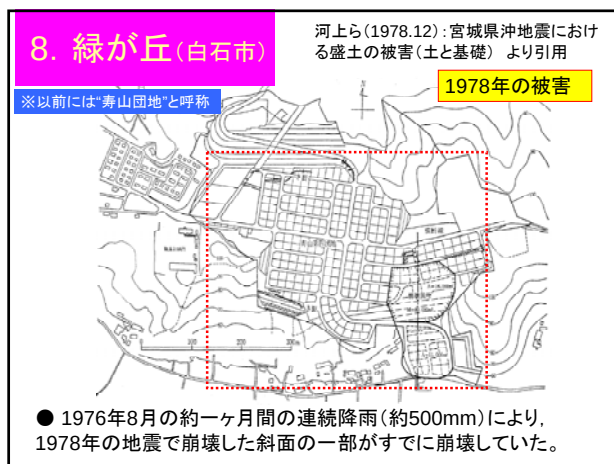
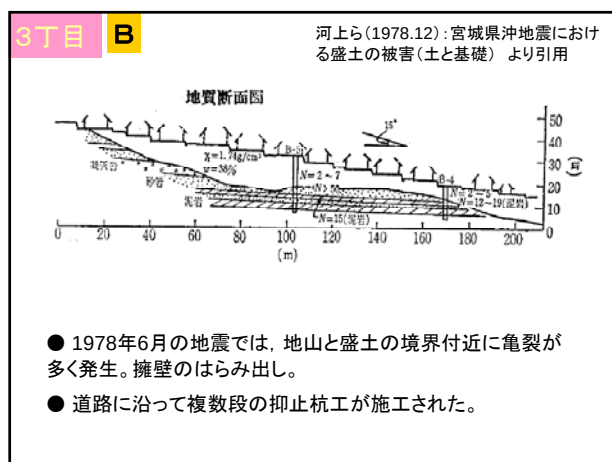


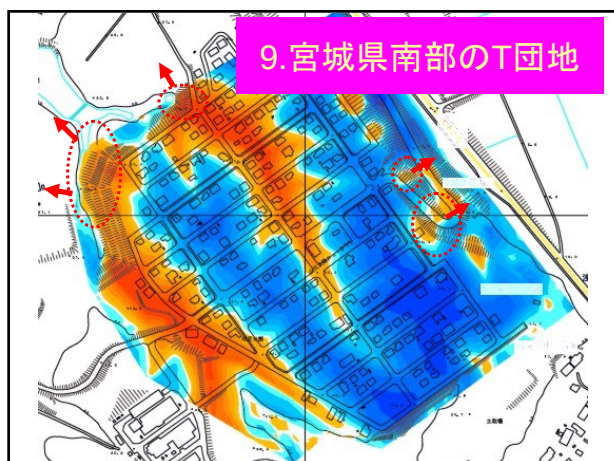
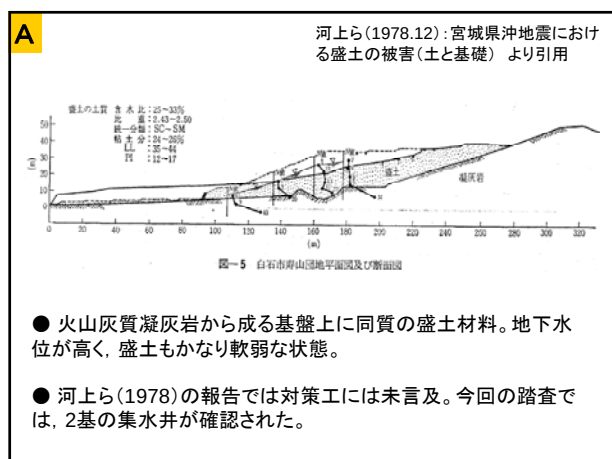




6-6.新設道路擁壁裏込め土の
不同沈下(地中構造物周辺?)









まとめ(暫定版)

- 宅地造成地における盛土部の被害が顕著

A. 盛土斜面全体の大規模なすべり・変形(調査した範囲内では北向き斜面の被害が多い)
→1978年宮城県沖地震で被災した箇所の再被災もあり, 対策工が一定の効果を発揮

B. 谷埋め盛土部の沈下と排水路等の被害

C. 盛土・埋戻し土の液状化に起因する局所的被害



旭ヶ丘①②

- 木造家屋(廃屋?)の倒壊
- 周辺道路に修復跡多数
- 急傾斜の道路



旭ヶ丘③

- 擁壁の崩壊
- 周辺道路に亀裂多数



- 周辺にはブロック塀の被害が多い

旭ヶ丘④

- 石積み擁壁の崩壊



謝 辞

本調査にあたり、貴重な工学的考察の一助
となりました「宅地地盤図データ」について
は、(株)復建技術コンサルタント様のご協
力をいただきました。

ここに記して謝意を表します。